

## 言語活動を取り入れた単元づくりのポイント

### ◆ルール3カ条◆

- ・指導事項を、言語活動を通して指導します。
- ・教材を指導するのではなく、教材で指導をします。
- ・児童の実態や指導事項、教材に適した言語活動を取り入れます。

### 単元づくりのステップ1, 2, 3

### ポイント（留意点）

#### 1 前単元までの学習の系統性を調べ、その単元で取り上げる指導事項を決定しましょう。

- ・児童の実態を把握しましょう。
- ・その単元では、何を重点的に指導するのか（指導事項）を教科書等で確かめておきましょう。
- ・教材研究をしておきましょう。
- ・教科書の単元配列を見てみましょう。

- ・前の単元は何を指導したか。
- ・同じ領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の前の単元ではどんなことを学んだか。
- ・前の学年の同系統の内容は何か。



#### 2 取り入れる言語活動を選びましょう。

- ・「この指導事項を指導するためには、この言語活動がふさわしい」という考え方を忘れないようにします。
- ・言語活動のもつ特性や取り入れる効果についての教材研究をしておくことが大切です。

- ・領域は何か。（話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの中のどれ？）
- ・指導することは何か。  
（教科書の教材名の横にあります。）
- ・年間指導計画を作成し、同じ領域の指導事項の配列の系統を見ておきます。

- ・教材文だけを教材研究するのではなく、言語活動の機能や特徴を調べておきましょう。
- ・『この言語活動を3次で行うために、2次では会話や行動をしっかりと読み取らせる！』というようなイメージをもっておきましょう。



#### 3 指導計画を立てましょう。

- ・指導事項を身に付けさせることができるような単元の目標と評価規準を作成します。
- ・1単元ごとの指導計画を立て、授業に臨みましょう！

- ・1単元では1領域の評価を行うことが基本です。
- ・単元を貫く言語活動を取り入れた指導計画を立てましょう。